

発行 車体発 13 第 195 号

2014年3月17日

## 2014年度（平成26年度）トレーラー国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2014年度のトレーラー国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2013年度のトレーラー総需要は5,909台・前年比106.0%になるものと見込まれる。  
主力であるコンテナ用タイプは、2012年度後半からの国内外の景気低迷回復により、前年比109.3%となった。また、平床・低床タイプは前年比110.6%と増加した。このレベルは、台数安定期である2005年度から2007年度の平均台数(約8,000台)比では73.9%である。
2. 2014年度については、世界経済は緩やかな拡大基調はあるものの、新興国の景気下振れリスク等が懸念されまた、国内経済は景気回復への期待と継続した復興需要、東京オリンピック・パラリンピック開催準備に向けた需要などが想定されることから、トレーラー総需要は6,269台、2013年度比106.1%と見込まれる。

### ・2014年度トレーラー国内需要見通し

年 度	2012年度	2013年度	2014年度	対前年比	
	(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2013年度 (B/A)	2014年度 (C/B)
合 計	5,575	5,909	6,269	106.0%	106.1%
形 状	コンテナ用	1,502	1,641	109.3%	101.8%
	バン	1,466	1,473	100.5%	113.2%
	平床・低床	1,467	1,622	110.6%	105.5%
	その他特装系	1,140	1,173	102.9%	103.9%

単位：台

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラーとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラー、ボートトレーラーなどは除く。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会事務局：阿部